

伊達市地域再生計画概要

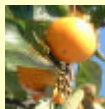
**少子高齢社会に対応した豊かなまちづくり計画
～ 伊達ウェルシーランド構想の実現を目指して ～**

平成16年6月

北海道伊達市

1 伊達市の紹介

- ・ 四季を通じて温暖な気候（「北の湘南」）
- ・ 医療・福祉施設の集積、金融機関・大型店舗
が中心部に集中
- ・ H15基準地価上昇率（住宅地）
全国一位と三位
- ・ ノーマライゼーションのまち
知的障害者総合援護施設「道立太陽の園」
住民と行政が一体となって積極的に受入、支援活動



秋には柿の実もなる



札幌から

高速道路 125km（95分）

JR特急（90分）

千歳空港から

高速道路 98km（75分）

JR特急（70分）

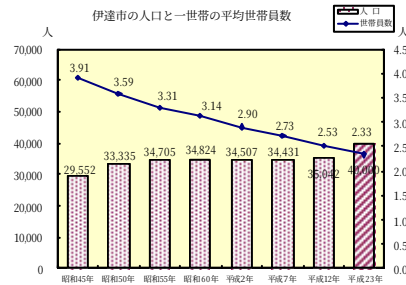


・ 南に噴火湾（内浦湾）、北及び西は有珠山、昭和新山

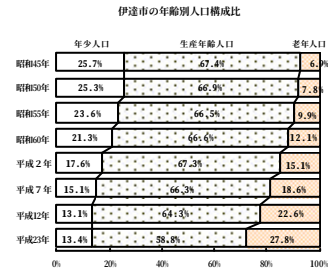
・ 噴火湾に向かって広がるなだらかな扇状地斜面、河川が多く豊かな生産緑地帯を形成

・ 野菜を中心とする道内有数の食料供給地

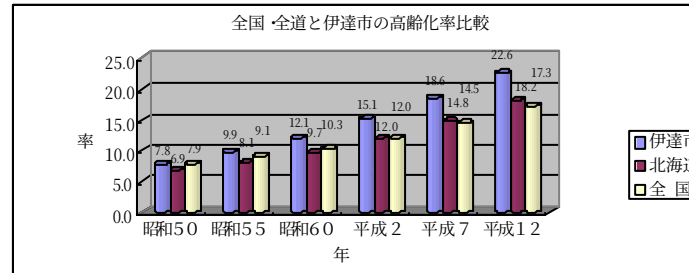
2 構想の背景・・・・・・少子高齢化社会の将来



伊達市の人口は横ばい・・・・市外からの高齢者の移住が多い



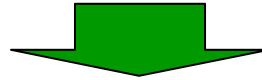
伊達市の高齢化は確実に進んでいる



伊達市の高齢化率は増加、全国・全道より高い

3 構想の目的

高齢者を対象とした新しい生活産業によるまちづくり



① 高齢者が住んでみたい町

伊達市内及び近郊だけでなく、北海道ひいては全国各地から高齢者が生活してみたいと思う魅力ある町



② 女性・若者の働きがいのある町

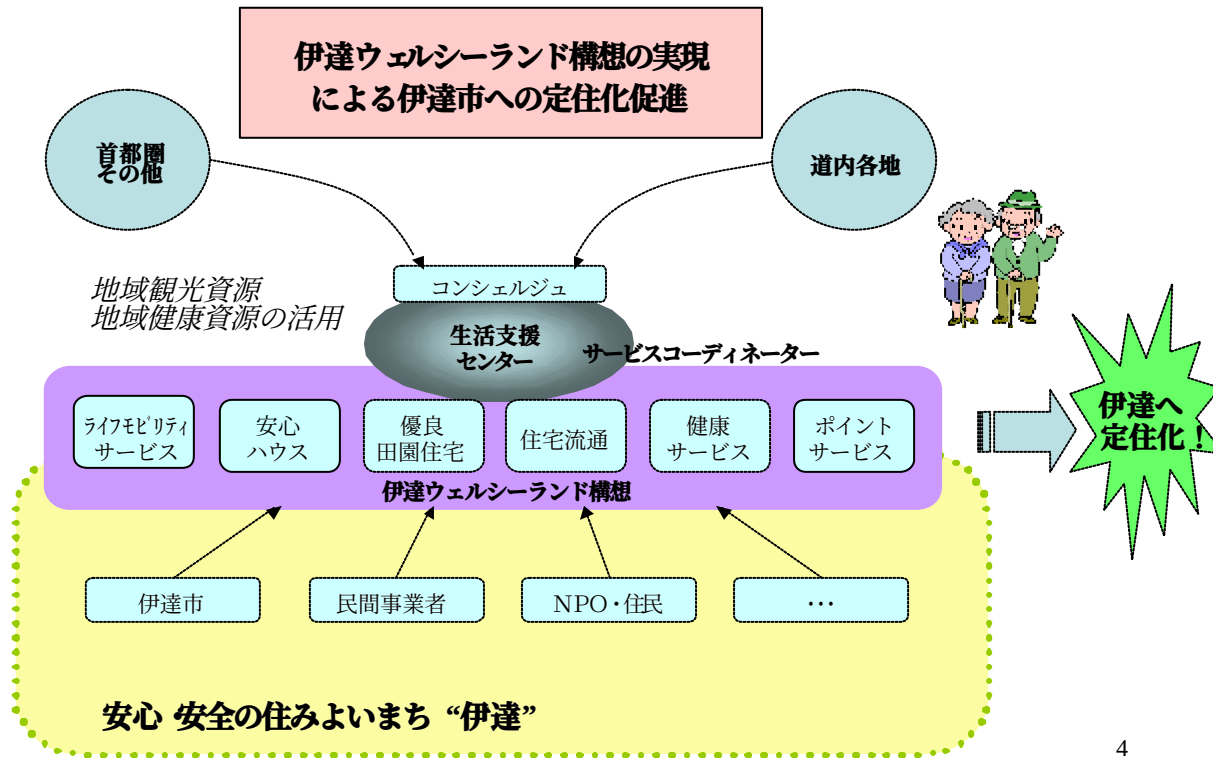
新たなサービスの導入によりコミュニティビジネス+新たな雇用が創出され、働く女性や若者の流入が進む活気ある町

③ 働く人が住みたい町

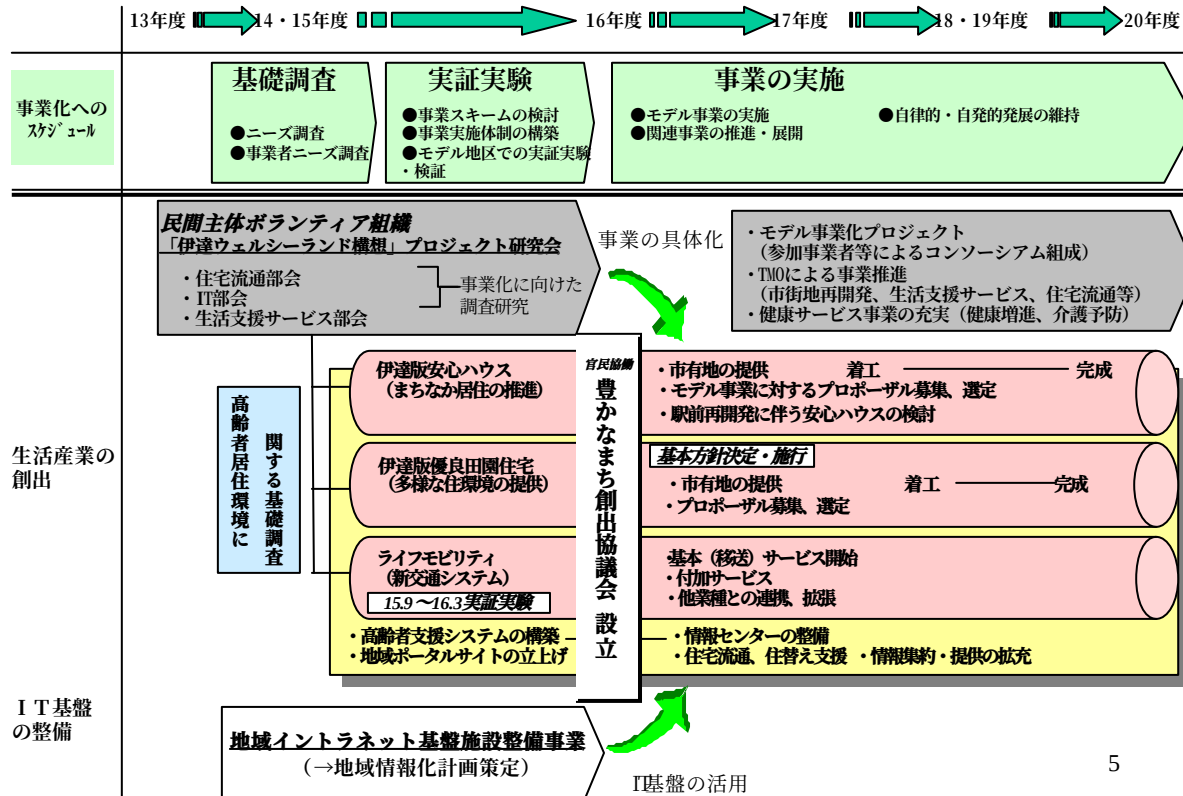
そして、このような働く人たちが住み続けたいと思う安心・安全の町



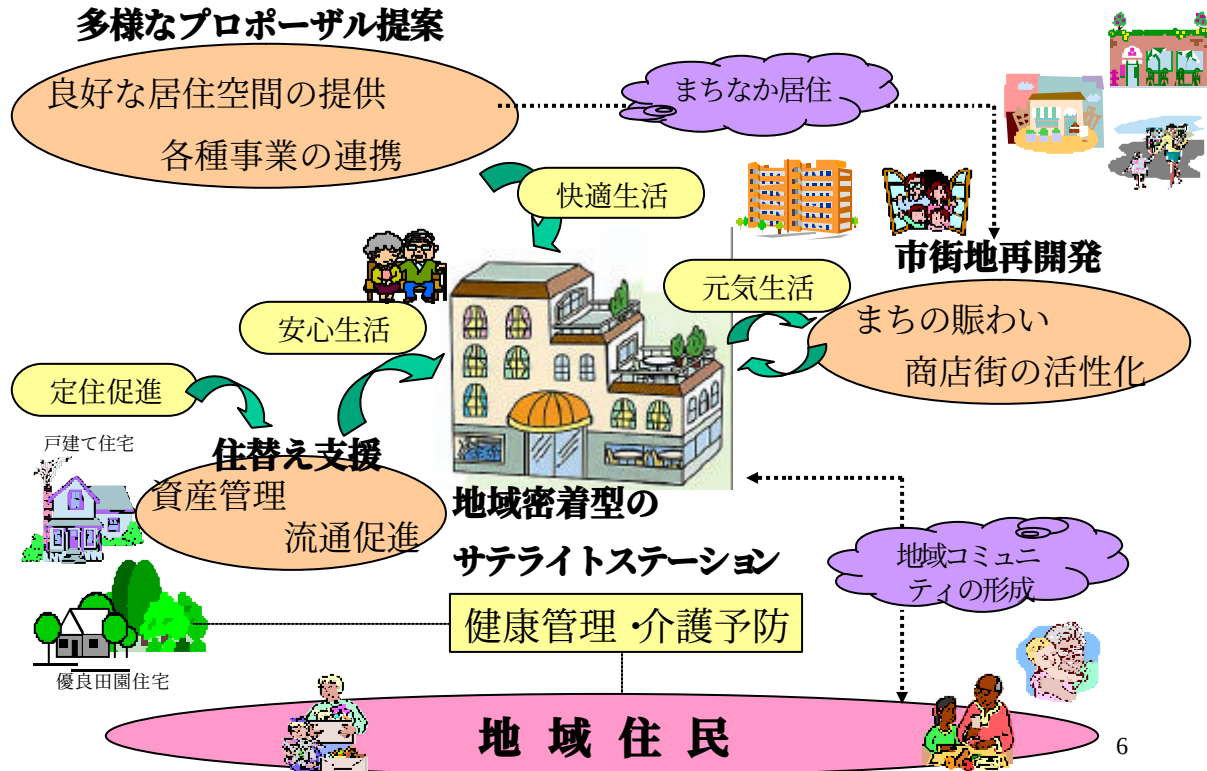
4 少子高齢社会に対応した豊かなまちづくり



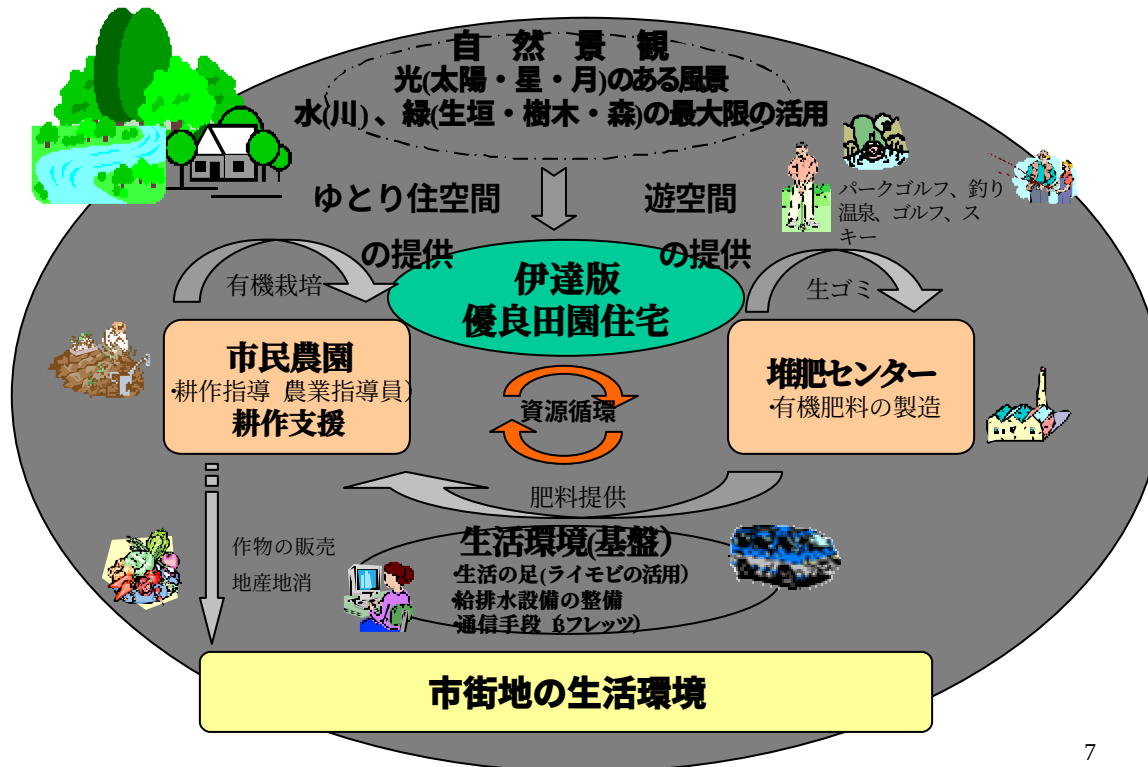
5 構想の取組み



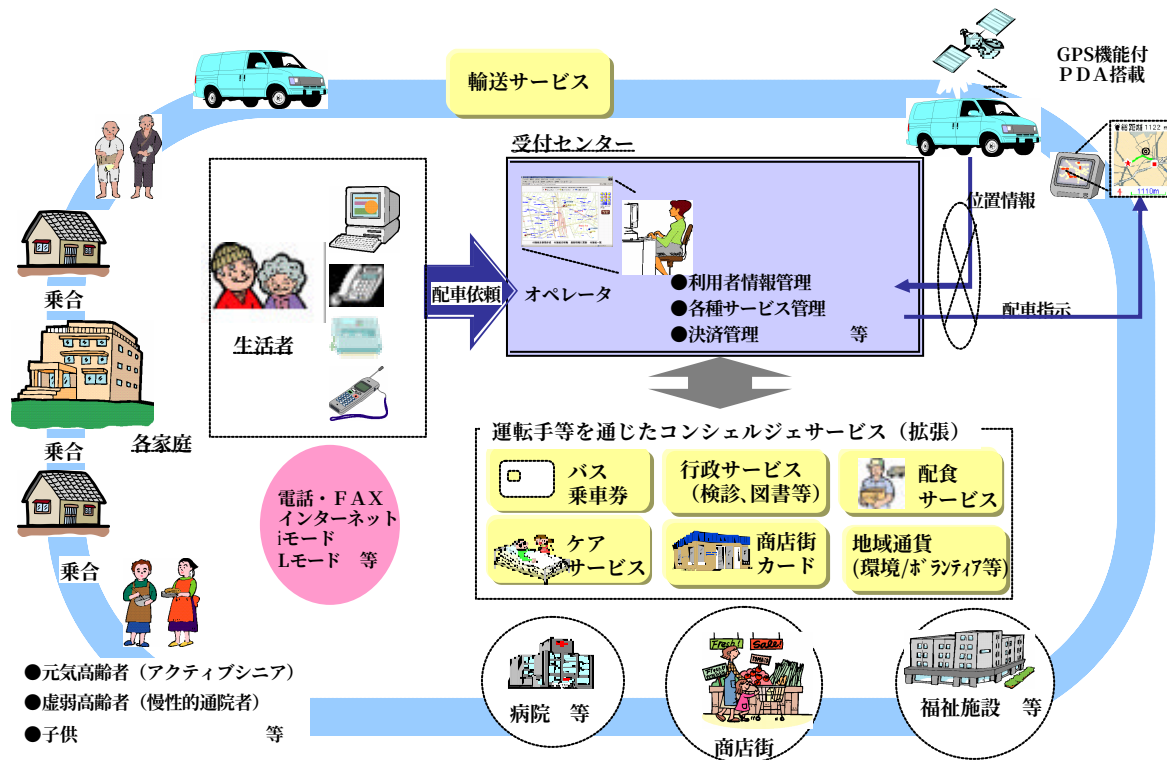
6 伊達版安心ハウスのイメージ



7 伊達版優良田園住宅のイメージ

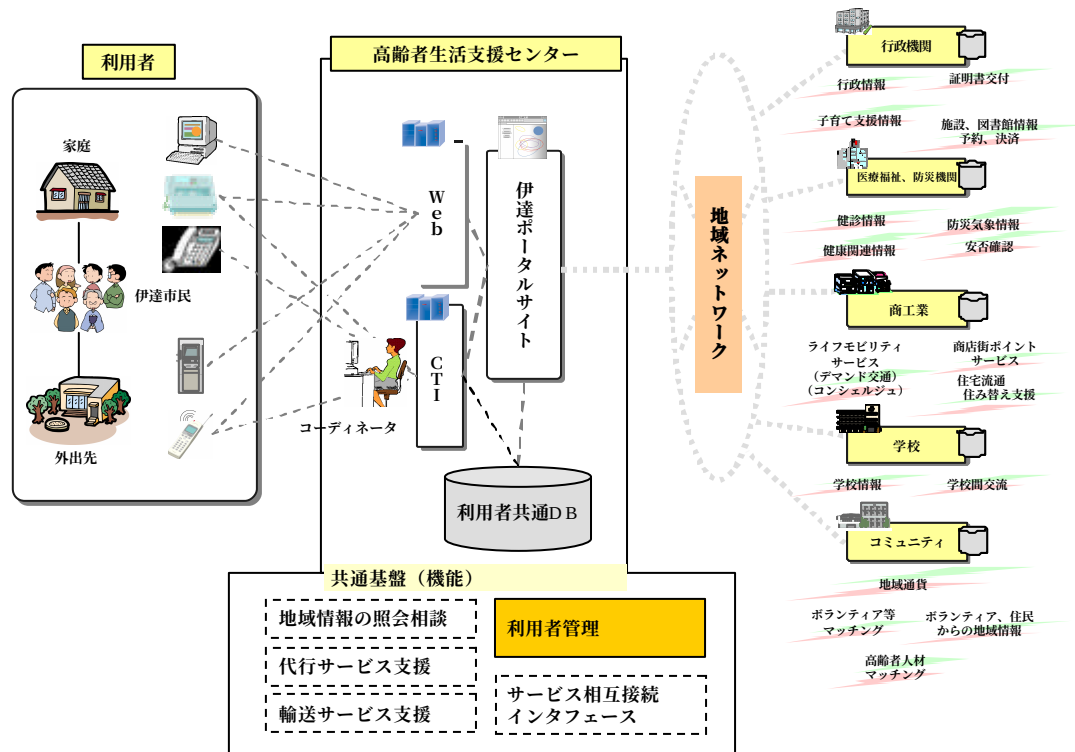


8 伊達版ライフモビリティサービスのイメージ



高齢者の足を行政、民間、市民で支え合う！

9 高齢者生活支援システム全体イメージ



10 適用される主な支援措置

- ・地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の設置
- ・市民農園で生産された農作物の販売が可能な範囲の明確化
- ・コミュニティバス、乗合タクシーの許可に関する基準の弾力化等
- ・開発許可制度の市街化調整区域での弾力的な運用の情報提供

